

12月27日(月)

こ こ も 神 の 御 国 な れ ば

聖書朗読 ヨブ 41章

主よ。あなたのみわざはなんと多いことでしょう。あなたは、それをみな、知恵をもって造っておられます。地はあなたの造られたもので満ちています。

詩篇 104:24

ヨブ記において、ヨブは深い苦しみを伴う試練に遭いました。そしてヨブは、「どうして自分がこの様な目に遭わなければならないのか」と、神に対して怒りをぶつけました。神様は、ヨブにお語りになり、神の創造の御業がいかにか(人間の知恵を超えた)大いなる御業であるかをお示しになりました。その結果、ヨブの態度は180度変わりました。ヨブは神に対し、「あなたには、すべてができること、あなたは、どんな計画も成し遂げられることを、私は知りました」と言っています(ヨブ 42:2)。ヨブは、神の偉大さや愛に対する驚きと、そして神への賛美の思いとで、胸が一杯になったのです。

鄭念(ていねん)という若い女性は、中国文化大革命時(1966~1976)に投獄された一人です。拷問を受け、刑務所の独房に入れられました。その際、鄭念は、神が造られた自然がいかにかに優れているかを目の当たりにする機会がありました。それは、鄭念が錆びた鉄格子に糸をかけるクモを目にした時でした。そのクモが織り成していた巣は、とても美しい建築物の様で、神様が造られた自然の奥深さを目の当たりにしたのです。創造者なる神様に思いを向けた時、彼女の心は強められ、改めて神様から与えられる希望を感じました。

(鄭念が体験したように)神が創造された世界の奥深さや美しさを感じる時、私たちは神の偉大さに気付かされ、(そのような偉大な神に愛されていることに)勇気付けられる時があります。そうした体験をしたからと言って、人生から困難、苦しみ、悲しみ等が全て無くなる訳ではありません。しかし、多いなる神の御業に気付かされる時、私たちは同じ現実であっても、それを「信仰の目を通して」捉えることが出来るのです。そして、前進する力と希望とが与えられるのです。私たちが自然の素晴らしさに目を注ぐとき、創造主である神様は、霊的飢え渴きを潤す「癒しの力」を私たちに与えて下さるのです。

讚美歌 90

祈り 神様、創造物を通して私たちにあなたの素晴らしさを教えて下さり、そして私たちが力付けて下さり、感謝します。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

デイヴ・ブランド
テネシー州サマービル

今日の日

2021年12月27日~1月2日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月28日(火)

恵みの時間

聖書朗読 ヨブ 42:12~16

まことに、私のいのちの日の限り、いくつしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。 詩篇 23:6

去年私は、靈的にやや行き詰っていたと思います。しかしその後、そうした状態から回復させられて、本来の私が進むべき道へと軌道修正出来たようにも感じています。コロナ禍のために2020年はまず、家に居るようにとの指示から始まりました。今考えますと、このいわゆる「ステイホーム」の時間は、神様にしっかりと心を向ける良い機会となり、様神の愛や知恵について改めて考えることが出来、感謝しています。

「ステイホーム」の間、私は普段にも増して聖書を良く読む時間が与えられました。そして読む度に、読んだ聖句をソーシャルメディア経由で友人に送りました。また、私は日々の家事や庭仕事をしながら、2歳のひ孫との時間を普段以上に楽しむことも出来ました。(ステイホームで旅行などは出来ませんでした)家でひ孫たちと過ごした時間を通して、私はひ孫たちの靈的成長をますます楽しみにするようになり、「これからも長生きしたい」という思いを持ちました。「ステイホーム」は、確かに試練ではありましたが、神様が試練をも(靈的)益へと変えて下さることを実感しました。(参照、ローマ8:28)。

「待ち望め、主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め主を」(詩篇 27:14)。私が友人たちに聖句を送ったり、ひ孫に聖書の話をするなどして伝道をする原動力は、私が聖書を読んだ際に与えられた希望や喜びです。ですから、聖書を読む時間を(ステイホームで)より多く与えて下さり、私を靈的に軌道修正して下さいました神様に感謝しています。

*将来についての不安だけで心を一杯にするよりも
神様からの平安で心を満たして頂きましょう
今起こっていることに不満になるよりも
神様から与えられる希望に心の目を注ぎましょう
—サイモン・パトリック*

讚美歌 291

祈り 愛するお父様、いつも祝福を与えて下さり感謝いたします。御心のままに私をお用い下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

S. ビル・ヒメネス
カリフォルニア州サンフランシスコ

12月29日(水)

共に食卓を囲む

聖書朗読 詩篇 23篇

私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそそいで下さいます。私の杯は、あふれています。 詩篇 23:5

私はALS(筋萎縮性側索硬化症)患者です。この病気は、少しずつ体を不自由にしていきます。ですが、体の不自由さが増すたびに、私は「私を支えて下さる神様への信頼」が深められているように思います。最近、夜中に詩篇23篇が頭に浮かんだことがありました。特に5節(上掲の聖句)です。

その聖句を心に刻みながら、私は次のように思い浮かべました。神様は、食卓の席を準備しておられ、私もその席に招かれています。この食卓は、神様が準備して下さいる食卓であり、何と、神様が給仕して下さいるのです。そのような素晴らしい場に、私を招いて下さっているのです。そしてそこでは、私の「敵」(ALS)は、私を苦しめることはもはや出来ません。私と神様は、食卓を囲んで楽しい会話を交わしたり冗談を言い合ったりしながら食事を楽しみます。そして、私の「敵」(ALS)が私と神様との楽しい食卓に割り込んで私を苦しめることは、もはや全く出来ないのです。

この食卓は、神様が私のために準備して下さいる食卓であり、私を祝福して下さいるために用意されているのです。私は、この食卓に就く時を心から楽しみにしています。そして神様は、この食卓を通して、私をあふれるばかりに満たして下さいます。神様ご自身がこの食卓の席におられますから、私の「敵」(ALS)は、私に対してもう何も出来ません。そしてその神様が、私をあらゆる苦しみから癒し、私の心に刺さっている刺も全部取り除いて下さるのです。私は、この食卓で私の向かいにイエス様が座っておられる光景を想像します。ALSは、私とイエス様との間に立ちただかることは出来ません。ALSは、遠くから悔しそうに私とイエス様との楽しい交わりをただ眺めるしかないのです。

あなたの(靈的意味での)「敵」が何であれ、あなたに対しても神様はこの素晴らしい食卓の席を準備しておられます。そして、その食卓では、神様から出ている本物の愛、喜び、平安を満ち溢れるほど頂くこととなります。そして私たちは、神様の素晴らしさを讃え、神様との永遠の交わりを楽しむことになるのです。

讚美歌 298

祈り 神様、私の苦しみを取り除いて下さることを感謝します。どんな試練の中でも共に居て下さり、ありがとうございます。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

レベッカ・H・タリー
テキサス州ラボック

12月30日 (木)

大いなる祝福

聖書朗読 詩篇 32:1~5

神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移して下さいました。この御子のうちにあつて、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。
コロサイ 1:13~14

上掲のコロサイの聖句は、私のお気に入りの聖句です。数年前に暗記しましたが、繰り返し心に刻むようにしています。とても大事な聖句なので、何度もこの聖句に聴く必要があるのです！

この聖句を読む度に、私は信仰の初心に戻ります。なぜでしょうか？ それは、私たちが神様から頂いている罪の赦しについて記されているからです。つまり、私たちがサタンの支配下から解放して下さい、と言っているからです(参照、ヨハネ8:12)。私たちが闇の中でさまよっていても、神様は私たちをそこから連れ出し、御国へと導いて下さるのです。

13節では、私たちが「神の支配」の中へと救い出されたことが書かれています。イエス様が犠牲になって下さったことにより、私たちは罪の力から解放されて救われています(ヨハネ8:36参照)。御国では、私たちは「イエス様の血によって贖われ、買い戻された者」として生き続けることが出来ます。そこは光で溢れています。神様は、そのような御国を私たちのために用意しておられる恵み深いお方です。

14節では、罪の赦しについて記されています。私たちの罪は赦され、私たちは罪から切り離されました。「東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちが遠く離される」(詩篇 103:12)。このように、私たちはもはや罪の中におらず、私たちはもはや罪に定められていないのです。

この救いの素晴らしさに、喜ばずにはいられないでしょう。私たちはもう闇の中を歩みません。罪の支配下にはいません。希望をもって歩むことができます。私たちは、新しい(救われた)いのちに生きることが出来るのです。

このコロサイの聖句は、私たち一人一人の人生とも重ねて考えることが出来ます。自分の人生と重ねて考える時、私たちは救いの恵みの大きさに気付かされることでしょう。救いの恵みを、心に刻んで歩みましょう。

讃美歌 529

祈り 親愛なるお父様、救い主であられ、光であられるイエス様を与えて下さったことに感謝致します。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ロン・グロス
コロラド州キャノンシティ

12月31日 (金)

大いなる神の素晴らしさ

聖書朗読 詩篇 33:1~9

さあ、神のみわざを見よ。神の人の子らになさることは恐ろしい。

詩篇 66:5

こんにち私たち(アメリカ人)は、「awesome」(意味:「素晴らしい」)という言葉が頻繁に使います、ソーシャルメディアのコメント欄でもよく目にします。この言葉は、人に対しても、出来事に対しても使うことが出来る言葉です。

詩篇66篇の作者は、私たちが神様が「素晴らしい(お方だ)！」と気付くべきだと言っています。この詩篇の最初の部分で、作者は、神を賛美してほめ歌を歌うよう私たちに勧めています。なぜでしょうか？ それは、「まことに、主のことは正しく、そのわざはことごとく真実である」(詩篇33:4)からです。

私たちが生きているこの(地上的な)世界では、(残念ながら嘘・偽りが語られることも多いので)何が真実なのかを見極めるのは簡単ではありません。しかし、神様はいつでも真理を語って下さいます。そして、神様の言葉は、私たちの知恵をはるかに超えていて、私たちは思わず「素晴らしい！」と叫んでしまいたくなります。神様の言葉の素晴らしさを、私たち人間が(言葉や芸術で)表現し尽くすことは出来ないでしょう。神様の素晴らしさは、何よりもまず、神様が常に真実なお方であり、完全に義なお方であり、そして公正を愛するお方だという点にあると言えます。

私たちが、神様を深く知れば知るほど、神様の素晴らしさに圧倒されます。神様は、その御力(みちから)においても圧倒的です。神様は、その「主のこぼ」御口のいぶきによって(詩篇 33:6)天と地とを造られました。神様が語られることは、その通りになるのです。神様が「光よ、あれ」(創世記1:3)と仰せになれば、光が生まれるのです。ですから、ヘブル人への手紙の著者は次のように言います。「御子は・・・その力あるみことばによって万物を保っておられます」(ヘブル1:3)。本当に、神様は「素晴らしいお方である」としか言いようがありません。神様の言葉は、永遠に真実で、私たちがその大いなる神の御手の中で生かされているのです(参照、使徒17:28)。

讃美歌 161

祈り 親愛なる神様、あなたが造られた天地万物に目を向ける時、あなたは本当に素晴らしい大いなるお方であることを覚えます。私たちが、あなたの御前で謙虚にあなたへの賛美をお捧げすることが出来ますよう助け導いて下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

スコット・ケージ
アーカンソー州フェイエットヴィル

1月1日(土)

賛美の力

聖書朗読 詩篇 34:1~9

キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。 コロサイ 3:16

私の夫は、礼拝賛美のリードをするソングリーダーとして奉仕をしています。彼は、音楽(曲)に合わせて賛美することが大好きです。また彼は、礼拝奉仕者としてマイクを持って人前に立っていない時(プライベートな時間)でも、いつも神様を賛美しています。もしかしたら、あなたの周りにも、私の夫のような「いつでも賛美を捧げている人」がいらっしゃるかもしれませんね。

夫は、いつも、様々な賛美歌を口ずさんでいます。例えば、「救い主にぞわれは仕えん」「マジェスティ」「心より主を賛美せよ」「あまつみつかいよ」といった題名の賛美歌をよく口ずさんでいます。

夫にとって、賛美することはあまりに自然なことなので、ほとんど無意識に賛美を口ずさんでいる時もあるようです。しかし、彼の賛美は、彼の信仰から自然ににじみ出ているものであり、私もそんな信仰の熱い彼の口から響く賛美を耳にする度に、励まされる思いがします。

皆さんも、心が沈んでいる時には、賛美歌に耳を傾けてみたり、ご自身で賛美を口ずさんでみたりしてはいかがでしょうか。あなた自身だけでなく、あなたの周りにも、賛美を通して励まされるかもしれませんよ。

讃美歌 502

祈り 神様、ハレルヤ! 御名を賛美します。心が沈んでいる方々が周りにおられる時、私たちをお用い下さい。周りの人々があなたの愛と力によって励まされますように。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

オネイダ・ゲージ
テキサス州サンアントニオ

1月2日(日)

いかなる時も

聖書朗読 詩篇 40篇

私は切なる思いで主を待ち望んだ。主は私のほうに身を傾け、私の叫びを聞き、私を滅びの穴から、泥沼から、引き上げて下さった。そして私の足を巖の上に置き、私の歩みを確かにされた。 詩篇 40:1~2

何らかの困難な出来事や試練は、人を(良い意味で)変える場合があります。個人レベルで変化が見られる時もありますし、社会全体で変化が起こる場合もあると思います。最近私の友人が紹介してくれたのですが、こんな調査結果があるとのことでした。すなわち、1929年の株式市場の大暴落によって引き起こされた大恐慌は、当時教会から離れていた何千もの人々を教会へと立ち帰らせるきっかけになった、というのです。

また、第二次世界大戦は、多くのアメリカ人の生活を混乱させました。この混乱を受けて、アメリカ国内では砂糖とタイヤの配給が行われました。ガソリンの使用量を減らすために、速度制限が施行されました。戦争による死傷者の累計は毎日増加しました。戦争により、多くの人々の体だけでなく心が傷つきました。(もちろん、こうした出来事は繰り返されるべきではありませんが)このような状況の中で多くの人々が霊的飢え渴きを覚え、教会を訪ねました。そして、実に約75パーセントのアメリカ人が、教会に通い奉仕をするようになったというのです。

こんにち、新型コロナウイルスの影響により、世の中に再び混乱が訪れています。いつ完全に収束するのか分からないこの状況下で、多くの人々が不安を感じています。失業率の上昇や経済の行き詰まりも、私達を不安にさせます。しかし、このような試練の時こそ、私達は本当に大切なものについて考えさせられます。「繁栄の時」よりも「逆境に置かれている時」こそ、私達は自分自身について深く考えるのではないのでしょうか。今私たちはコロナ禍の只中にいますが、これが収束した時、私達はコロナ禍を振り返って「(コロナ禍という)試練の意味」を知ることが出来るかもしれません。私は、コロナ禍にもきっと意味があり、神様はこのような禍をも何らかの(霊的な)益のために用いて下さることと信じています(参照、ローマ8:28)。過去の様々な試練を振り返ってみて、私はそう思うのです。

讃美歌 316

祈り 神様、あなたはいつも変わらず忠実で真実なお方です。この困難な中にありましても、あなたに拠り頼み生きて行けるようお導き下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ジョー・バーネット
テキサス州ヒューストン